

地歴公民 (日史・世史・地理・政経・倫理) 北海道大学 総合入試【文系】、学部入試【文】

<全体分析>

試験時間 90分

解答形式

記述式 43 問 論述式 14 問 (総字数 635 字) 計 57 問

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

記述式の問題数は昨年より 2 問減少し、論述式の問題数は昨年と同じだが総字数はやや増加したため、分量については昨年並みとした。また、記述式の問題は例年と同様に標準的な難易度のものが多く、論述式の問題は思考力や判断力を求められるものや、**4**の一部に解答しにくいものがあつたものの、昨年と大きな変化はないため、難易についても昨年並みとした。

出題の特徴や昨年との変更点

例年、大問 4 つで、**1**は古代 (原始を含む場合もある)、**2**は中世、**3**は近世、**4**は近現代という構成をとっているが、本年は**3**で原始・古代や中世、近現代からも出題されている。これは昨年来の傾向で、時代をまたぐ出題ということが意識されている。また、蝦夷地・北海道や、江戸時代の対露関係がテーマとして取り上げられるのも本学の特徴である。

新課程を踏まえた出題

3では、民法や地方自治法といった既存の法律が成立した経緯をさかのぼりつつ、各時代の歴史的事象を考察させる問題がみられた。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	記述式 論述式	古代の政治, 文化 ・富本銭と和同開珎, 律令制下の「良吏」 《一部史料》	問 2 はビジュアルを文章で説明するという目新しい問題であった。問 3 は「窠」で製作され「寺院建築」に欠かせないというヒントはあるが、やや難しい。問 6 は一般論としてまとめるのが良いだろう。	標準
2	記述式 論述式	中世の政治, 外交, 文化 ・日元, 日明貿易	問 4 (1) は義政将軍就任の年から判断するのはやや難しい。問 6 は明応の政変を指すが、義政正室ということから日野富子とわかる。問 7 は文章から時期による貿易船の動向と輸入品の価格変動を読み取る必要がある。	標準
3	記述式 論述式	原始・古代・中世・ 近世・近現代の政治, 外交, 経済, 社会 ・入会地, アイヌに 関する法律《史料》	問 1 (3) は近現代の暮らしのなかで、薪や炭が燃料として用いられなくなった場面を想起する。問 4 (1) は「場所請負制度のなかで」という設問から、和商人によるアイヌの使役を指摘する。問 5 は難しい。	標準
4	記述式 論述式	近現代の政治, 外交, 社会, 文化 ・同時代の女性による 回顧録や日記 《史料》	問 3 は (3) の設問から、下線部が甲申事変、その後の天津条約のことを指すと判断する。問 5 は社会主義政党と無産政党の区別がつきにくく、難しい。問 7 は韓国の「国際的地位」についての見解の相違とあり、条約締結をめぐる与野党対立を知らなくても解答は可能である。	標準

※難易度は 5 段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

記述式の問題については、本番で取りこぼしがないよう、教科書を中心に歴史用語を確実に定着させる。論述式の問題については、教科書の説明に則した歴史理解を心がけ、歴史事象の背景や因果などを意識しながら学習し、比較的短い字数の問題を素材にして練習を繰り返す（可能であれば添削指導を受ける）。また、過去の出題と類似したテーマから出題される傾向があるので、過去問もしっかり解き、理解を深めておくようにする。